

令和6年度 全国学力・学習状況調査  
教科に関する調査結果及び考察について

保護者の皆様へ

白河市立白河第四小学校長

令和6年4月18日に実施しました「全国学力・学習状況調査」の教科に関する調査結果及び考察についてお知らせいたします。

この調査は、学校における児童への教育指導や学習状況の改善等に役立てることなどを目的としています。

調査対象は6年生で、国語、算数の2教科を実施しました。

本校では、教科に関する調査結果とその考察、ならびに指導方法を改善する取組をお知らせし、学校と保護者や地域の方々がともに手を携えて、児童の学力向上や学習環境などの改善に取り組んで参りたいと考えておりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の一部であること、また、学校における教育活動の一側面の結果であることをご理解ください。

【本校と全国の平均正答率比較】

教科	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
国語	67.7%			○		
算数	63.4%			○		

【国語：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領 域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
言葉の特徴や使い方に関する事項	64.4%		○			
情報の扱い方に関する事項	86.9%					○
我が国の言語文化に関する事項	74.6%					○
話すこと・聞くこと	59.8%					○
書くこと	68.4%	○				
読むこと	70.7%	○				

【考 察】

- 授業において、互いの考えを伝え合う活動を多く取り入れた結果、話を整理、分類しながら相手に分かりやすく伝えたり、相手の考えを正しく聞き取ったりすることができるようになってきました。
- 「読むこと」の領域では、人物像を正しく読み取る問題に誤答が見られました。登場人物の行動や会話、様子を表している叙述や表現に着目しながら、書かれている内容を正しく読み取る力を伸ばしていきます。また、教科書以外の文章を読む機会を増やし、日常的に読解力の育成を図っていきます。

【算数：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領 域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
数と計算	66.0%					○
図 形	66.3%	○				
変化と関係	51.7%	○				
データの活用	61.8%		○			

【考 察】

- 「数と計算」の領域では、これまでに継続して取り組んできた音声計算やタブレット端末によるドリル学習 学年末の計算コンクールの取組により、知識・技能の定着が図られてきました。
- 「図形」の領域では、直方体の見取り図や角柱の面についての問題で、誤答が見られました。今後は、図形を構成する要素やそれらの位置関係に着目し、図形の性質について筋道を立てて考察する活動を取り入れながら、図形についての理解を深めていきます。

## 令和6年度 全国学力・学習状況調査 質問紙調査結果及び考察について

保護者の皆様へ

白河市立白河第四小学校長

「全国学力・学習状況調査」では、学習や生活の状況について質問紙による調査も実施しましたので、その結果及び考察の一部をお知らせいたします。

特に、児童の家庭学習の取組や授業の様子に関する調査結果を公表し、学校と家庭・地域の協力体制を強化していくことを目的としています。

この結果を、ぜひご家庭でも子どもさんと一緒に話し合っ、家庭生活の見直しに役立ててくださるようお願いします。

- 1 分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか。

		できている	どちらかといえばできている	どちらかといえばできていない	できていない
小	全 国	30.3	50.4	16.2	3.1
6	白四小	35.7	50.0	10.7	3.6

(単位 %)

### 【考 察】

- 「できている」「どちらかといえばできている」の割合が85.7%と高かったのは、普段の授業からタブレットや本を活用しながら自分に合った学び方を見出し、課題解決に取り組んできた結果の表れです。
- どのように解決をしたらよいか学び方が分からない児童がいることから、どのような方法があるか提示したり、個別に声をかけたりして解決できるように支援していきます。

- 2 授業時間以外に、普段（月～金）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。

		3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	全くしない
小	全 国	11.0	12.5	31.1	27.0	13.0	5.3
6	白四小	7.1	10.7	39.3	25.0	10.7	7.1

(単位 %)

### 【考 察】

- 本校の「家庭学習の手引き」では、1時間以上の学習時間をめやすとしており、半数以上の子どもたちが達成されています。しかし、1時間未満の子どもも約40%います。まだ、家庭学習の大切さを理解し、習慣化されていないことがうかがえます。
- 家庭学習については、授業で学習したことと関連させながら、自主学習の仕方やノートの使い方等を指導していき、より一層家庭での学習習慣を身につけさせていきます。

3 学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか。

		当てはまる	どちらかといえば当てはまる	どちらかといえば当てはまらない	当てはまらない
小6	全国	31.9	48.9	16.0	3.1
	白四小	17.9	67.9	10.7	3.6

(単位 %)

【考 察】

- 「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の割合が、85.8%と高く、一単位時間の学習を授業の中でしっかりと理解したり、分からなかったところを家庭で復習したりしている様子が見えます。
- 分からないことをそのままにしてしまう児童がいることから、個別に声をかけ解決できるように支援していきます。

4 友達関係に満足していますか。

		当てはまる	どちらかといえば当てはまる	どちらかといえば当てはまらない	当てはまらない
小6	全国	62.4	28.7	6.7	2.2
	白四小	67.9	32.1	0.0	0.0

(単位 %)

【考 察】

- 「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の割合で100%を達成することができました。学級の友達関係が良好であることが見えます。
- 毎週水曜日の構成的グループエンカウンター「豆がらっ子トーク」での友達同士の交流や、楽しい学校生活を送るためのアンケート（Q-Uテスト）を活用しながら、一人一人が互いに認め合える関係づくりをこれからも大切にしていきます。